



発行
 岩手県立花北青雲高等学校
 青雲同窓会
 〒028-3172
 岩手県花巻市石鳥谷町
 北寺林11地割1825番地1
 TEL 0198 (45) 3731
 FAX 0198 (45) 3746
 発行人
 会長 高橋安之

『あいさつ』



同窓会会長
 高橋 安之

日ごろは花北青雲高校ならびに青雲同窓会に対しご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、昨年は天候に左右された一年で、予報では冷夏と言われていましたが、記録的な暑い日が続きますが、猛暑の夏となりました。日常の生活では冷房が無いと生活できない日が続き、電気店のエアコンが無くなったとも聞いています。その暑い日が続く七月に、会社の命令により奥州市から盛岡市に転勤し担務内容も変

わり、奥州市ではCO2削減の仕事で社内向けでしたが、盛岡では小中学生や高校生、さらには女性が多いですが諸団体に対し話をする機会が多くなり社外向けとなりました。内容は主に「くらしと電気」「発電の種類としくみ」「発電燃料とエネルギー資源」「省エネと環境」などエネルギー資源や環境についての話が中心で、小学生に対しては学校を訪問し授業の中で話をする事が多く、中学生は、盛岡が岩手県の県庁所在地

であることから県内各地から職場を訪問してきます。中高生はその際、体験学習や従業員の仕事に対する取り組み姿勢などの話をすることが多く、事前に質問をいただき答えることも多い。質問の内容には、「仕事の内容」「仕事をして良かったこと大変だと思ったこと」「なぜこの職業か」などの質問があります。また、ここまで質問するかという内容の「夢は何だった」「夢ははじめからこの職業か」「なぜ夢をあきらめた」などもあります。

自分の生き方を考える教育、興味・関心を持って自ら学び、ものの考えを身に付けようという学習指導要領の総合的な学習の時間の学習活動のねらいからきている内容のかなと思っ

各事業所を見てお客さまに満足いただくため責任感を持ち、やりがいを感じながら仕事に取り組んでいる様子や自分の意思を持ち、人の役に立っている仕事を考えているようです。皆さんよく見ているものだと思いますし、しっかりとしていると感じました。

また、盛岡に来て中高生の考え方や生き方に影響を与えているのではと責任を感じているところです。

昨年から今年にかけて暴風雨や大雪で今年も全国各地で異常気象に見舞われ、大変なスタートとなっています。景気は緩やかに回復傾向にあると言われていますが、天候と同様に社会情勢はまだまだきびしく私たちの生活に大きく影響を与えています。

自分の考え方や生き方をきちんと持つていなければと思っているところです。皆さん、「やる気」「希望」の持てる社会づくりをしていきましょう。

（最近感づいたこと）

最後に、三年後には石鳥谷の地に学校が開校され四十周年を迎えます。開校前に独立校の基礎を作った花巻北高校石鳥谷分校の卒業生をはじめ花北商業高校、花北青雲高校卒業生の皆さまのご協力をよろしくお願ひします。

同窓生の佐藤修悦さんに、昨年の青雲講演会で制作していただいた作品



本校 第一体育館

八重山商工高等学校訪問



花北青雲高等学校

校長 在原 眞

同窓生の皆様には、日頃、花北青雲高等学校の教育活動に、ご支援、ご協力をいただいております。厚く御礼を申し上げます。

私は、昨年四月から校長として勤務しています。在原真といえます。どうぞ宜しくお願い致します。私は、四年前本校に副校長として赴任し、二年間勤務させていただきました。今回二度目の勤務となります。私と本校との縁の深さを感じております。

さて、本校は平成二十一年から、沖縄県石垣島にある八重山商工高等学校と交流をおこなっています。花巻市から南に約二、二〇〇キロ余り、八重山諸島の中心となつているのが石垣島です。石垣島は、昨年九月に起こった尖閣諸島中国漁船衝突事件で、一躍脚光を浴びました。八重山商工高等学校は、石垣島の南端に位置しています。「友愛津梁」(友愛の精神を持つて広く世界を結ぶ架け橋となり有為

な人材となる)を校訓とし、

平成十八年の春夏連続甲子園出場により、その名を全国に馳せた高校です。学校規模、学科等が本校と類似しており、「相互の高校の特色を認識し、交流の輪を広げる」という目的で、交流が開始されました。平成二十二年は、山口前校長、福田PTA副会長が、学校訪問を行いました。

平成二十二年度は、本校バドミントン部が沖縄インターハイに出場したので、その応援を兼ねて、私、バドミントン部顧問立花教諭、部員二名で、七月三十日に八重山商工高等学校を訪問いたしました。

石垣島は、インターハイレスリング競技の会場ということで、島村校長先生を始め教職員の方々が、その準備に追われていました。校長先生は多忙にもかかわらず、学校見学の後、私達を、八重山高等学校、八重山農林高等学校に案内してくれました。さらにバナナ公園、川平湾等、

島内の名所に連れて行ってくれました。私は、美しい南国の風景、美味しいマンゴー、パインアップルを満喫するともに、校長先生のもてなしの心にいたく感激致しました。その夜、八重山商工高等学校、八重山高等学校、八重山農林高等学校の校長先生の皆様やPTA役員の方々が、沖縄民謡を聴く店で、我々の歓迎会を開いてくれました。石垣

島の夜は、九時頃でも、まだ明るかったです。宴がたけなわになった頃、私の耳に「ていんさぐぬ花や、爪先に染みみてい、親ぬ寄し事や、肝に染みり」というどこかで聞いた歌詞が聞こえてきました。それは、三十八年前、私が高校一年生の時に、担任の教師が、在学中に二度だけ歌ってくれた沖縄民謡でした。そういえば、「先生は沖縄の離島の王子様だったと言っていたつけ。」と当時の記憶が蘇ってきました。

先生が、その曲を、歌ってくれた日は、一九七二年五月十五日です。その日は、沖縄の施政権が、アメリカ合衆国から日本に返還され、琉球政府が沖縄県になった沖縄返還の日でした。

先生は、いつもはすぐ英語の教科書を開くのですが、その日に限って、我々に「皆さんは、沖縄を、日本の領土だと思っていたか？」(返還前は沖縄に琉球政府がありました。現在の沖縄県は沖縄もしくは、琉球と呼ばれていました。沖縄から日本に、日本から沖縄に旅行するためには、パスポートが必要でした、「沖縄の日常語は、英語であると思っている人、手を挙げなさい。」「沖縄では、自動車は、左側通行だと思いか？」(当時はアメリカと同じく右側通行でした)などと話し始めました。そして、「ないちやー(日本人)には、沖縄の方言を言っても分からないだろうな。」と言って、民謡を歌ってくれました。私達生徒は、意味が全くわからず、外国語を聞いているようでした。しかし、その哀調を帯びた曲を、真面目に歌う先生の姿に、皆静かに聞きいつていました。

私は、島村校長先生に、その思い出を話すと、「その曲は『てんさぐぬ花(鳳仙花)』という沖縄民謡です。歌詞の内容は、鳳仙花の花は、魔除けとして、爪先に染めなさい、親の言うことは、心に染めなさい、という意味です。沖縄人は、親、祖先を大切にします。それは、内地人の比ではありません。」と教えてくれました。私は、校長先生の説



明を聞いて、沖縄の墓地は広くて、墓が立派であることに、納得しました。

「英語の先生は、遠き異郷にあつて、この歌を歌いながら、故郷や親を思っていたのだ、沖縄出身者が現在ほど認知されていない時代に、内地で生活するには、私が想像する以上の苦労があったのだろう、言葉でコンプレックスを感じたかもしれない、沖縄出身であることを内地人に言うことに、ためらいを感

じたかもしれない、辛く悲しいこと、情けないこと、悔しいことがいっぱいあったのだろう、沖縄返還の日は、先生にとって特別の日であり、感慨無量だったのだ。」と思いを巡らせると、切なくなり、『てんざぐの花』が心に染みいつてきました。(http://yaeyamaocean.com/katenj/tenzagu.html) 『てんざぐの花』の曲を聴くことができず) その後、生徒達は、歌手から舞台に呼ばれ、三線に合わせて『涙そうそう』を歌い、盛り上がりました。

舞台の歌い手が「八重山諸島には、旅行者が感染する八重山病があります。それは、島に一度来ると、また島に来たくなる病気です、私もその病にかかり、現在小浜島(NHK連続テレビ小説『ちゅらさん』のロケ地)に住んでいます。」と語っていました。

エメラルドグリーン海、星降る白い砂浜、水牛がのんびりと草を食べている風景、ざらざら照りつける太陽、ゆつくりと流れる島の生活、自分がどんな状態であっても、ありのままの自分を受け入れてくれそうな島の人達、南十字星の誘い、哀調を帯びた沖縄民謡・・・そういう生活

を体験すると、時間や競争に明け暮れている自分の現実の生活が馬鹿らしくなるのです。

私も八重山病に感染しました。いつの日かまた、石垣島、小浜島を訪れよう、そして、花北青雲高等学校の多くの生徒達を、美しい石垣島に訪問させ、異文化を体験させ、八重山商工高等学校との交流を深めていきたい、と決心しました。

最後になりますが、平成二十三年は卯の年です。干支である兎が、跳ねることにあやかつて、卯年は飛躍の年と呼ばれています。今年、花北青雲高等学校は、いろいろな分野で更に飛躍したいと思えます。また「北の空 君に無限の可能性」をスローガンに、七月から北東北三県(岩手、青森、秋田)を会場として、平成二十三年度全国高等学校総合体育大会が開催されます。花北青雲高等学校運動部は、インターハイ出場を目指して、頑張りますので、今後とも、皆様の一層のご支援、ご協力をお願い致します。あわせて本年における同窓生の皆様の益々の飛躍をご祈念申し上げます、挨拶に代えさせていただきます。



平成二十二年十月十四日(木)本校体育館で、今年度の青雲講演会が行われました。今年度は、昭和五十三年三月に本校(花北商業高校)商業科を卒業し、現在トップツアーズ株式会社盛岡支店にアシスタントマネージャーとして勤務されている塩澤恵子さんにご講演をお願いしました。

講演では、高校在学当時の思い出話から始まり、現在の仕事に至るまでのお話を、プレゼンテーションソフトでスライドを使いながら



青雲講演会



「ミニケーションツール」と題して、海外の事情や魅力、仕事上の逸話なども写真を通しておもしろおかしく紹介して頂き、在校生はともにも興味深く塩澤さんの講演に耳を傾けました。

国内外を飛び回っている大変忙しいなかにもかかわらず、貴重なお話を有り難うございました。

生徒にわかりやすく伝えて頂きました。特にも、幼少の頃からの夢であった、旅行業の仕事に就きながら海外各地を巡ってみたいという気持ちを続け、そのために高校卒業後一度は就職した銀行を退職し、その後の専門学校在学と海外生活経験を積み現在に至るまでのお話は、自分の夢を持ち続けること、それを実現するために努力することの大切さを在校生に力説して頂きました。「旅は最高のコ



青雲同窓会総会



平成22年8月28日(土)、青雲同窓会総会が花巻温泉ホテル紅葉館で開催されました。
 議事内容についてはすべて承認され、総会後の懇親会では、第1回生から新会員まで交わり和やかな雰囲気
 で交流を深めました。
 来年度も八月に総会を予定しております。会員のみ
 なさんは声を掛け合い、是非参加していただくようお
 願いたします。

平成22年度 事業計画

〈平成22年〉

- 4月 7日(水) 入学式・教職員歓迎会
- 5月21日(金) 第1回理事会 於 新ぼし
- 6月19日(土) 東京支部総会 於 大雅 (東京有楽町)
- 7月15日(木) 第2回理事会 於 本校青雲会館
- 8月28日(土) 定期総会 於 ホテル紅葉館
- 10月14日(木) 青雲講演会 於 本校第一体育館
塩澤恵子さん (S53年度卒)

〈平成23年〉

- 1月13日(木) 第3回理事会 於 本校青雲会館
- 2月28日(月) 同窓会報第31号発行
- 同窓会入会式 於 本校多目的教室
- 3月 1日(火) 卒業式
- 3月22日(火) 教職員送別会
- 4月上旬 会計監査

平成22年度 青雲同窓会役員名簿

役職名	卒年	氏名
会長	46	高橋 安之
副会長	49	松田 和宏
副会長	49	伊藤 操一
副会長	55	藤原 康洋
理事	43	多田 義明
理事	49	佐々木 俊幸
理事	51	小原文 一
理事	54	千葉 俊明
理事	55	高橋 幸治
理事	57	岡田 知穂
理事	57	三宮 真利
理事	60	中村 弘樹
理事	61	小野 英二

役職名	卒年	氏名
理事	H7	藤原 理沙
理事	H11	伊藤 淳
監事	58	伊藤 秀己
監事	60	菊池 司
監事	H11	小原 学
顧問	43	阿部 正介

東京支部

役職名	卒年	氏名
支部長	45	菅原 崇人
事務局	47	荒瀬 富姫子
事務局	49	佐々木 則司
事務局	63	中島 清郎



昭和四十三年卒業生

阿部 正介

還暦を祝う会を開催

還暦を祝う会

平成二十二年八月二十八日花巻温泉ホテル紅葉館にて、同期生の還暦を祝う会を開催しました。当日は同窓会の総会があり、総会終了後に

開催したもので、

同期生一〇〇名中二十八名が参加しました。高校を卒業してから四十年余りから新しい趣味にチャレンジしている人、再就職して仕事に励んでいる人、親や夫の介護に専念している人、みんなそれぞれ充実した生活をしていました。

私も今年の三月で定年退職となりますが、高校を卒業して市役所に採用された当時学生服で働き、給料をもらってから背広を買ったことが今でも思い出されま

す。これから卒業される皆さんには、「青雲の志」という言葉を送りたいと思います。青雲の志とは、立身出世を求め志ではなく、人生の中で徳を積んで聖賢の人になろうとする志のことです。多くの失敗をし、その中から多くのことを学び、徳を積み上げていつてほしいと思つていま

「還暦を祝う」東京にて

昭和四十三年卒業生

石川 梅子

二〇一〇年十月二十三日(土)、昭和四十三年卒業生で関東周辺に住んでいる在京組は、三鷹「寿栄広」にて、還暦を祝うクラス会を開きました。

男性四人、女性四人、そこに花巻から多田さん、古館さんにも上京していただき十名で行いました。みんな日時も都合よく「いいねえ。」「会いたいねえ。」「開いてよ。」との声に後押しされて話はず

少し溯れば同年の八月末に花巻温泉で祝う会が開かれたのですが、在京組の参加者は少なく、卒業以来初めて会う顔・顔・顔に感激しつつも淋しい思いもありました。「東京で集まれないだろうかー」そんな気持ちが湧いてきたのでした。

私は時々所用で帰省しますので多田さんに連絡を入れたります。そこで在京組の連絡先を入手。多田さんが「その時は連絡をくれ。」と言ってくれたので、早速クラス会決定を知らせると古館さんを誘って本当に来てくれました。これにはみんな感激でした。

待ち合わせは夕方五時、三鷹駅改札を出た所で。みんなワクワクして懐かしい顔が一人ずつ増えていく度に「ああ。」「おおく！」「変わらないなあ！」の声と握手。いいもんですね。

会場になった「寿栄広」は後輩が営む居酒屋です。食べきれないごちそうと、飲み放題の歓待を受け、宴は長い空白を一気に埋めるかのように大いに盛り上がりました。二次会はカラオケ店に行き、それぞれに得意のノドを披露

し、最後に全員で「高校三年生」を歌いました。中学校の一部を間借りして始まった高校生活を思い出し、ジーンとしました。

卒業してからの四十二年という月日は、決して順風満帆な時だけではなかったはずで、仕事に、家庭(子育て)に、自分自身の健康に茫然自失の日々もあつたと思います。その月日を経て再会するせい

か、お互いに掛け合う言葉や声がいたわりやあたたかさを含んだ何とも言えないいい響きに聞こえてきて、クラス会を開けて良かったと思いま



平成22年度民間就職・公務員・進学内定状況(2月14日現在)

					岩手県立花北青雲高等学校								
種別	区分	職種	県内		県外		種別	区分	職種	県内		県外	
			男	女	男	女				男	女	男	女
	【金融・保険業】						【公務員】						
	西京信用金庫[ビ]	事務				1	岩手県一般事務[ビ]			1			
	岩手県国民健康保険団体連合会[ビ]	事務		1			岩手県警察事務[ビ]			1			
	小計	2	0	1	0	1	花巻市一般事務[ビ]			1			
	【卸・小売業】						国家三種(税務)[ビ][情]					2	
	㈱ハウディ館[総]	販売		1			国家特別職(自衛隊)[ビ]					2	1
	㈱小専商店[ビ][総]	販売		2			公務員合格	8	0	3	4	1	
	㈱岩電[ビ]	事務		1			公務員内定者計	4		2	2		
	㈱アストリア[ビ]	販売			1		民間就職・公務員内定者総計	62	17	30	9	6	
	㈱吉池[ビ]	サービス			1		【大学】						
	小計	6	0	4	0	2	小樽商科大学商学部[ビ]					1	1
	【サービス業】						北海道教育大学函館校人間地域科学課程[ビ]					1	
	岩手中央農業協同組合[ビ]	事務		1			釧路公立大学経済学部[ビ]					1	
	花巻農業協同組合[ビ]	事務		1			青森公立大学経営経済学部[ビ]					1	
	㈱岩手クボタ[ビ]	事務		1			岩手県立大学ソフトウェア情報学部[情2][ビ1]	3					
	㈱岩手クボタ[ビ]	販売	2				福島大学人文社会学群経済経営学類[ビ]				1	1	
	㈱新鉛温泉[ビ]	事務		1			群馬大学工学部[情]				1	1	
	㈱山の神温泉 幸迎館[ビ]	サービス		1			盛岡大学文学部児童教育学科[総]			1			
	フラインリゾート㈱渡り温泉	事務		1			盛岡大学文学部英語文化学科[ビ]	1					
	㈱ホテル志戸平[総]	サービス		1			盛岡大学栄養科学部栄養科学科[総]			3			
	㈱岩手ホテルアンドリゾート[ビ]	サービス		1			富士大学経済学部[ビ]	2					
	㈱紫波まちづくり企画[ビ]	サービス		1			東北学院大学経済学部[ビ]					1	
	岩手ハイウェイサービス㈱[ビ]	販売		1			東北学院大学経営学部[ビ]					1	2
	㈱サトウフードサービス[総]	サービス		1			東北福祉大学総合福祉学部[総]					1	
	㈱三平[ビ]	サービス			1		東北工業大学工学部[情]					1	
	トッパン・フォームズ・オペレーション㈱[ビ]	技術			1		東北工業大学ライフデザイン学部[情]					1	
	㈱にしけい東京支社[総]	サービス			1		東北文化学園大学科学技術学部[ビ]					1	
	ジェアール東日本コンサルタンツ㈱[情]	技術			1		東北文化学園大学総合政策学部[ビ]					1	
	小計	17	2	11	2	2	仙台白百合女子大学人間学部[ビ]					1	
	【製造業・建設業】						日本工業大学工学部[情]	1					
	イーエヌ大塚製薬㈱[ビ][総]	技能	1	1			尚美学園大学総合政策学部[情]					1	
	東北資材工業㈱[総]	技能		1			千葉工業大学工学部[情]					1	
	㈱セイワ[総]	技能		1			明治大学商学部[ビ]					1	
	リコー光学㈱[情3][ビ2]	技能	4	1			立正大学経営学部[ビ]					1	
	㈱トップレディ	技能		1			東海大学文学部[総]					1	
	㈱共立精工[情]	技能	2				小計	33	7	4	12	10	
	㈱岩手畜産流通センター[ビ]	技能	1	1			【短期大学】						
	㈱三和ドレス盛岡工場[総]	技能	1	1			岩手県立宮古短期大学部経営情報学科[ビ2][総1]			3			
	関東自動車工業㈱[情]	技能	1				函館短期大学食物栄養学科[総]					1	
	㈱朝日縫製 北上工場[総]	技能		1			青森中央短期大学看護学科[ビ]					1	
	ケミコン岩手㈱[情]	技能	1				東北女子短期大学生活科[総]					2	
	トヨタ紡織東北㈱[情]	技能	2				盛岡大学短期大学部幼児教育学科[ビ2][総5]			7			
	谷村電気精機㈱[情]	技術	1				修紅短期大学幼児教育学科[ビ]	1					
	敷島製パン㈱パスコ東京事業部[総]	技能			1		聖和学園短期大学保育福祉学科[総]					1	
	ディー・ティー・ファインエレクトロニクス㈱[情]	技術			3		仙台青葉学院短期大学看護学科[総]					1	
	ホンダエンジンアリング㈱[情]	技術			1		宇都宮短期大学音楽科[総]					1	
	㈱忍足研究所[ビ]	技能	1				郡山女子大学短期大学部家政科[総]					1	
	New Nissei Technology Corporation㈱[ビ]	技能	1				帝京短期大学生生活科学科[ビ]					1	
	㈱船野組[ビ]	事務		1			岩手県立産業技術短期大学校[情]	1					
	㈱共同産業	事務		1			小計	21	2	10	0	9	
	小計	30	15	10	4	1	【専門学校】						
	【電気・ガス・熱供給・水道業】						花巻高等看護学校[ビ2]			1	1		
	花巻ガス㈱[ビ]	技能		1			岩手リハビリテーション学院[総]			1			
	東京ガス㈱[ビ]	技能			1		岩手医科大学歯科衛生士[ビ]			1			
	小計	2	0	1	1	0	水沢学苑看護[ビ]			(1)			
	【運輸】						盛岡情報ビジネス[情2][ビ4]			5	1		
	岩手県交通㈱[ビ]	サービス		1			盛岡社会福祉[総]			1			
	小計	1	0	1	0	0	盛岡医療福祉[情1][ビ1][総3]			1	4		
							盛岡公務員法律[ビ]			1	2		
							盛岡ヘアメイク[ビ]			1			
							上野法律ビジネス[総]			1			
							盛岡カレッジオブビジネス[総]			1			
							日本ハイテクニカルクッキングカレッジ[総]			1			
							専修大北上福祉教育[総]			2			
							仙台医健[情]					1	
							仙台ビューティーアート[ビ]						1
							東日本航空[ビ]						1
							ドレメファッション芸術[総]						1
							東北電子工業[情]					1	
							東北文化学園[情1][ビ1]					2	
							東京アナウンス学院[情]					1	
							小計	33	9	16	5	3	
							進学合格者総計	87	18	30	17	22	
							民間就職・公務員・進学内定者総計	149	35	60	26	28	

[情]=情報工学科

[ビ]=ビジネス情報科

[総]=総合生活科

新聞記事より

県商業高校英語スピーチ

花北青雲姉妹が快挙



花巻市石鳥谷町の県立花北青雲高校に在学する大林由佳さん(3年)と志穂さんの2姉妹は、盛岡市で開かれた第30回県商業高校英語スピーチコンテストで最優秀賞と優秀賞に輝き、地域の話題となっている。兄弟姉妹協会の主催し、スピーチ大会は県高校商業教育協会が主催し、スピーチコンテストは、各校の代表21人と共に暗唱部門に出場した2人、同校は2人の快挙を祝している。

大会は県高校商業教育協会が主催し、スピーチコンテストは、各校の代表21人と共に暗唱部門に出場した2人、同校は2人の快挙を祝している。



姉妹で好成绩を喜ぶ花北青雲の大林由佳さん(右)と志穂さん

このうち由佳さんは、2008年大会に続く最優秀賞の受賞。各部門の1位が集まる全国大会(11年1月、東京都)への出場も決めた。全国大会の出場も決めた。全国大会の出場も決めた。全国大会の出場も決めた。

大林由佳さん、志穂さん

一方の志穂さんは、県内でも抜けた実力を持つ姉を追い掛け、こつこつと重ねた努力で急速に実力アップ。「刀を抜いて楽しむ」と思っただけなのに、お姉さんにならないうちは分かっていった。(受賞は)少しびびっていた」と喜ぶ。

佐藤葉子教師は「2人とも本心に素直で、言った事をすべて吸収してくれる。意欲ややる気が素晴らしいし、部活とも両立させている。ほかの生徒の良し手本」と頑張りを見た。

卒業を約半年後に控え、由佳さんは「まずはメダルが目標だけど、将来は保育士になって子供に英語を教えたい。もっと勉強し、外国で日本語を教えられたら」と未来を見据える。一方の志穂さんは「子供服を作っている会社に入った。ニューヨークにも店舗がある会社なので、いつか行ってみたい」と胸を膨らませていた。姉妹そろって高め合う日々は、これからも続きそうだ。

岩手日日
2010年(平成22年)
11月5日(金)

高い集中力で全国に



花北青雲3年 漆澤大輔君

漆澤君は6月19日、同校で県内6校から出場した代表者の頂上で、個人部の優勝を飾った。

漆澤君は2年から簿記の勉強を続けてきた。簿記の勉強は、数字の羅列を覚えるだけでなく、数字の背後にある意味を理解することが大切だ。漆澤君は、簿記の勉強を通じて、集中力を高めることに成功した。

上位入賞目指し特訓 高校簿記コンクールへ

花巻市石鳥谷町の県立花北青雲高校3年情報科の漆澤大輔君(3年)が、18日(東京都)で開かれる全国高校簿記コンクールに出場する。集中力や真実を制した漆澤君は、強敵ぞろいの全国大会にも「全国順位メダルを目指したい」と、大会に向けた調整に意欲的に励んでいる。

漆澤君は、簿記の勉強を通じて、集中力を高めることに成功した。簿記の勉強は、数字の羅列を覚えるだけでなく、数字の背後にある意味を理解することが大切だ。漆澤君は、簿記の勉強を通じて、集中力を高めることに成功した。

岩手日日
2010年(平成22年)7月13日(火)

異文化橋渡しに意欲



LCの青少年国際交流活動でマレーシアに派遣される平野さん

平野諒子さん (花北青雲高年3)

20日からマレーシアへ

LC国際交流事業で派遣

ライオンズクラブ(LC)の若者を対象にした国際交流活動「YE(Youth Exchange)事業」で、県立花北青雲高校総合生活科3年の平野諒子さん(18)が、20日からマレーシアに派遣される。期間は2011年1月までの約3週間。平野さんは「日本と異なる文化を比較し、国際人としての教養や能力を身に付けられるよう頑張りたい」と話し、出発を心待ちにしている。

平野さんは、地域社会(b)同好会の部長のほかに、地元に在籍して研修する。を中心としたボランティア、同会を基にして3月の石巻谷LCからの派遣活動を進める同校の「青年育成の団体」の会に派遣は、20日から来年1月10日まで、現地でService Club(ボランティア活動)の取組、ホストファミリーの家庭に滞在する。

「同士の民族音楽を聴いたり、楽器体験もしてみたい。着る物にも興味がある」と、研修に心を躍らせている。

マレーシアは、東南アジアのマレー半島南部とボルネオ島北部を国土とする国。人口は約2800万人とされる。首都はクアラルンプール。

岩手日日
2010年(平成22年)12月4日(土)

平成22年度部活動成績

全国大会出場

〈女子バドミントン部〉

全国高等学校総合体育大会
バドミントン競技大会
学校対抗
ダブルス
石島由美・小笠原理

〈女子バドミントン部〉

全日本ジュニア
バドミントン選手権大会
ダブルス
小笠原溪・小笠原理

国民体育大会バドミントン競技
少年女子 石島 由美

〈文芸部〉

全国高等学校文芸コンクール
小説部門 入選
佐々木美穂

〈生活研究同好会〉

全国産業教育フェア
フラーアレンジメントコンテスト
高橋 仁美

〈ビジネス情報科〉

全国高等学校簿記コンクール
漆澤 大輔

〈英語科〉

全国商業高等学校
英語スピーチコンテスト
上位12位入賞 大林 由佳

〈教科〉

全日本高校・大学生書道展
入賞 畠山 咲

東北大会出場

〈女子卓球部〉

東北高等学校卓球選手権大会
ダブルス
高橋美槻・八重樫美波
シングルス 八重樫美波



〈女子柔道部〉

東北高等学校柔道大会
48kg級 鎌田 望結

〈男子バドミントン部〉

東北高等学校
バドミントン選手権大会
ダブルス
小林和史・室岡大晶
シングルス 室岡 大晶

〈女子バドミントン部〉

東北高等学校
バドミントン選手権大会
学校対抗 ベスト8
ダブルス
石島由美・小笠原理

シングルス 石島 由美



〈〇A部〉
東北六県高等学校
チームワーク大会
団体 第10位

〈文芸部〉
高校生文芸道場
北海道・東北ブロック
散文部門 佐々木美穂

〈珠算部〉
東北六県高等学校
珠算競技大会
伝票算競技 珠算の部
第2位 小林 瑞生

〈陸上競技部〉
東北高等学校陸上競技大会
やり投女子 伊藤 沙織
砲丸投女子 伊藤 沙織
東北高等学校
新人陸上競技大会
やり投女子 伊藤 沙織
砲丸投女子 伊藤 沙織

〈総合生活科〉
東北ブロック高等学校
家庭クラブ連盟大会
ホームプロジェクトの部
優秀賞 瀬川 友香



〈女子柔道部〉
高校総体県大会
個人 48 kg級 第2位
鎌田 望結

新人大会
個人 48 kg級 第2位
鎌田 望結

岩手県高等学校1・2年
体別柔道選手権大会
2年 48 kg級 優勝
鎌田 望結

〈男子柔道部〉
岩手県高等学校1・2年
体別柔道選手権大会
1年 73 kg級 第2位
中畑 省吾

県大会入賞



〈男子バドミントン部〉
高校総体
学校対抗 第3位
シングル 第3位
室岡 大晶

〈女子バドミントン部〉

高校総体
学校対抗 優勝
ダブルス 第2位
石畠由美・小笠原理

新人大会
学校対抗 第3位
シングル 第3位
室岡 大晶



バドミントン 花北青雲が優勝

岩手日日 2010年(平成22年)5月31日(月)



〈女子サッカー部〉
新人大会
第2位

新人大会
やり投 優勝
伊藤 沙織

秋季陸上競技会
やり投 第3位 伊藤 沙織
砲丸投 第3位 伊藤 沙織

〈陸上競技部〉

新人大会
学校対抗 優勝
ダブルス 優勝
小笠原 小笠原理

シングル 第2位 石畠 由美
シングル 優勝 小笠原 湊

〈珠算部〉

岩手県高等学校珠算競技大会

団体 第3位

読み上げ暗算 第3位

佐々木 睦

岩手県高等学校

新人珠算競技大会

個人総合 第2位

小林 瑞生

〈文芸部〉

岩手県高校生文芸コンクール

文芸部誌部門 優良賞

小説部門 優良賞

佐々木美穂

小説部門 入選

八重樫春奈

誌部門 入選

渡辺 志帆

児童文学部門 入選

薄衣 郁海

〈O.A部〉

岩手県高等学校

ワープ口競技大会

団体 第3位

岩手県高等学校

新人ワープ口競技大会

団体 第2位

個人 第3位

鎌田 一穂

正確賞

伊藤 渚
小田島麻美

〈吹奏楽部〉

全日本吹奏楽コンクール

岩手県大会

高等学校の部

銅賞

〈総合生活科〉

高校生調理・製菓コンテスト

いわて青春厨房チヨリコン

お弁当部門 優秀賞

岩館 詩摩

フラワールレンジメント

コンテスト岩手県予選

金賞 高橋 仁美

岩手県高等学校家庭クラブ連盟

研究発表大会

ホームプロジェクト

最優秀賞 瀬川 友香

いわて秋さけコンクール

優秀賞 八重樫夏実

学校賞

全魚連シーフード料理

コンクール

入選 高橋 佳奈

〈教科〉

FM岩手

「私と家族の作文コンクール」

優秀賞 八重樫夏実

佳作 照井 美里

岩手県商業高校

英語スピーチコンテスト

最優秀賞 大林 由佳

優秀賞 大林 志穂

岩手県高等学校総合文化祭

美術工芸展

入選 青木 禎恵

国税庁

「税に関する高校生の作文」

税務署長賞 大林 由佳



〈情報工学科〉

高校生ものづくりコンテスト

2010岩手県大会

電子回路組立部門 第3位

根子 聡

〈交通安全委員会〉

岩手県交通安全対策協議会

会長表彰

〈ビジネス情報科〉

岩手県高等学校

簿記コンクール

団体 第3位

個人 優勝 漆澤 大輔

岩手県高等学校情報処理大会

団体 第3位



ホームページをご覧ください

花北青雲高等学校のホームページに同窓会のページがあります。

総会日程の案内、総会・懇親会の写真、同窓会報など、会員みなさんに活動の様子をお知らせしております。ぜひご覧ください。

また、このページを通じて、会員みなさんにお知らせしたいことがあります。もしたら掲載を考えますのでご連絡ください。

- ①花北青雲高校のホームページを開いて下さい。
- ②「同窓生の方」をクリックして下さい。

花北青雲高校 検索

寄稿・お便りを
お待ちしております

会報の発行は毎年二月末を予定しております。会員の皆様からのご寄稿・お便りをお待ちしております。内容については、近況報告・在学中の思い出・同級会の様子など何でも構いません。

話題あふれる会報を作成したいと思えます。下記メールアドレスへどんどんお寄せください。

お知らせ

同窓会では毎年、卒業記念品として卒業証書ホルダーを贈っております。

卒業証書

